



問 各地域に応じた今後の地域公共交通の在り方について問う

津市の公共交通の一つである津市コミュニティバスは、ルート・ダイヤを大きく改正し、令和3年度から新たな形での運行がされてきているが、新型コロナの影響があるとはいえ、利用が増えている。地域から公共交通について様々な声があると思うが、令和8年度の次期地域公共交通計画の策定に向けた、各地域に応じた今後の地域公共交通の在り方について問う。

答 地域の意見を聞きながら、地域公共交通の構築に取り組む

都市計画部と健康福祉部が連携し、令和8年度に実施する津市コミュニティバスの再編を見据えた検討を進めており、現在の運行に要する予算の範囲内で、バス停までの距離を短縮すること、需要のある便を効果的に運行することを柱とし、路線定期運行に代わるデマンド型交通の導入について検討を進めている。各地域で異なる地理的な状況や移動ニーズがあることから、できる限りきめ細かく停留所を設置した上で、商業施設や医療機関への移動、一般路線バスへの乗り継ぎなどができるように、各地域の意見を聞きながら、利便性の高い地域公共交通の構築に取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 報告第33号・第34号 交通事故による損害賠償に関する専決処分の報告について
- こども基金の創設に関して
- 津市エネルギー利用設備設置費補助金制度について、利用状況および補助金制度拡大の考えは
- 津市における公立小学校・中学校の適正規模・適正配置の考えについて

静岡県小山町で導入されているデマンド型の公共交通。津市でも検討が開始されている



問 一志地域における内水対策について問う

令和5年3月の津市雨水管理総合計画の改定により、一志町高野から其村までが重点対策地区に追加され、内水対策が位置付けられた。地域住民にとっては雲出川、波瀬川の洪水対策も悲願であるが、安心して暮らせる地域づくりに向けて、内水対策にも大きく期待をしている。現在の事業化に向けた取り組みと、今後のスケジュールについて問う。

答 令和8年度から一部工事に着手していく予定である

令和5年3月の津市雨水管理総合計画の改定に伴い、津市下水道事業基本計画の中間見直しにおいても事業化についての位置付けをした。

現在、事業計画を策定しているところであり、内水浸水想定区域図を作成中で、事業効果を検証しながら事業認可を受けるための準備を進め、令和6年度には排水施設の基本・詳細設計を行い、令和7年度には関係機関との協議および工事発注に向けた準備を進め、令和8年度から一部工事に着手していく予定である。

地域の意見を生かしながら、地域に合った対策を考え、事業進捗に努める。

その他の質疑・質問

- 雲出川水系流域治水プロジェクトに対する市長の思いはどうか
- 未来の農業政策・地域計画について
- ポートレース事業の今期の収益見通しについて
- 消防の広報・啓発活動について
- 一志学校給食センター長寿命化の改修について
- 一志放課後児童クラブについて **など**

国土交通省による流域治水プロジェクトのイメージ図



出典：国土交通省